

RPA これだけ覚えて！！ 最低限マニュアル



WinActorはNTTアドバンステクノロジーの登録商標です。

必要最低限の知識を学ぶ 基礎編



これだけ覚えればOK！RPAで使用する主なウィンドウたち



変数一覧

グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値
- グループなし	宛名番号		<input type="checkbox"/>	17788133
	「個人検索」選択...		<input type="checkbox"/>	17788133
	「異動更正」住民...		<input type="checkbox"/>	住民税申告
	「異動更正」住民...		<input type="checkbox"/>	普徴
	「異動更正」住民...		<input type="checkbox"/>	市申告により課税...
	「個人検索」選択...		<input type="checkbox"/>	17788133

データ一覧

行目	表示
1	1 17788133
2	2 17741454
3	3 17741462
4	4 17741470
5	5 17742299
6	6 17742302
7	7 17742361
8	8 40005790
9	9 17814869



①メイン画面 シナリオの作成、実行、保存ができる



シナリオ作成の簡単な流れ

1. 的ボタンで操作するウィンドウを選択
2. 録画ボタン押下
3. 記録したい作業を行う
4. 録画ボタンを再押下（録画停止）
5. 完成

シナリオ実行ボタン

録画ボタン：主にI Eモードとエミュレーションモードの2種類を使用

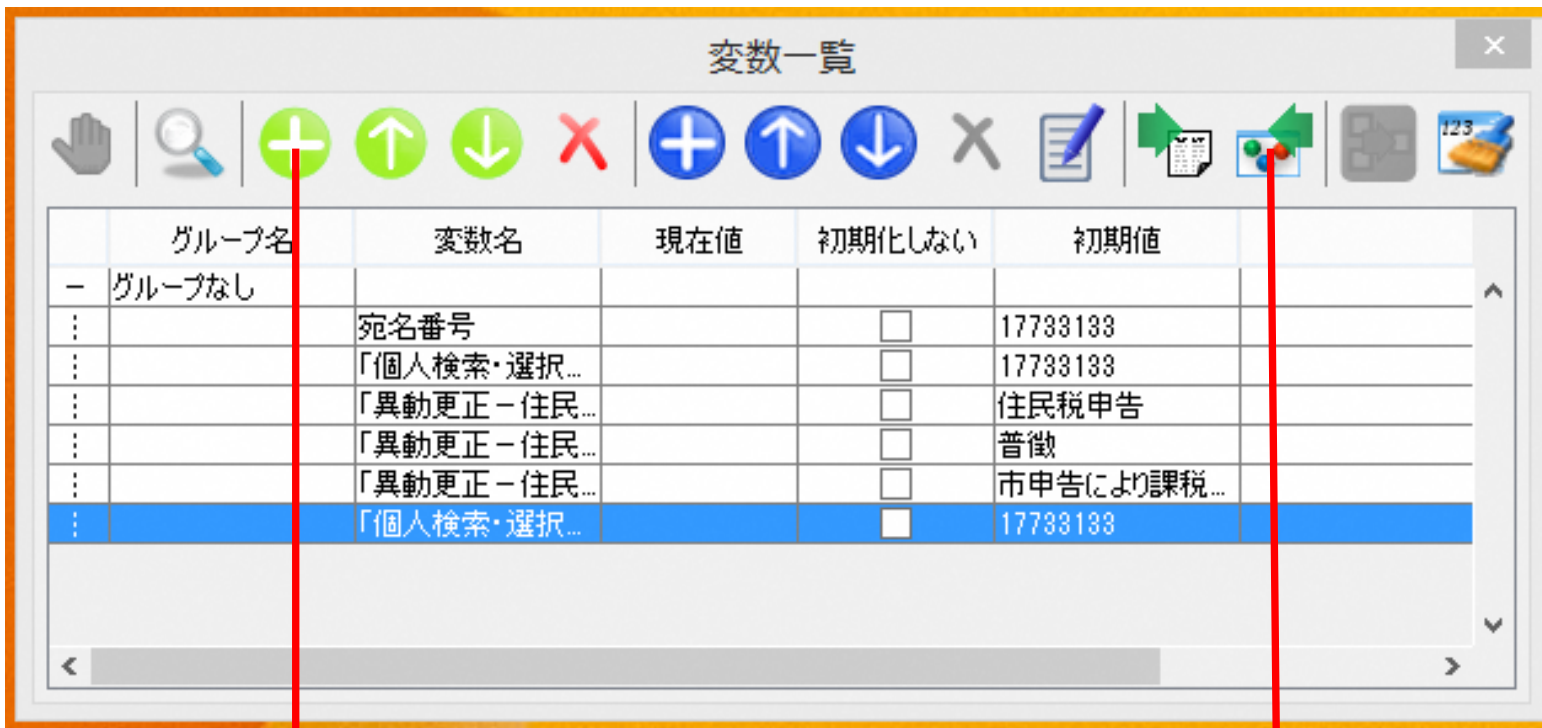
シナリオ停止ボタン

どのウィンドウを操作させるのか選ぶボタン（的ボタン）

②変数一覧画面

変数の設定を行う

(RPA初心者がつまづくポイントランキング第1位)



変数を手入力で追加ボタン

変数をデータ読込で追加ボタン

▼氏名一覧表

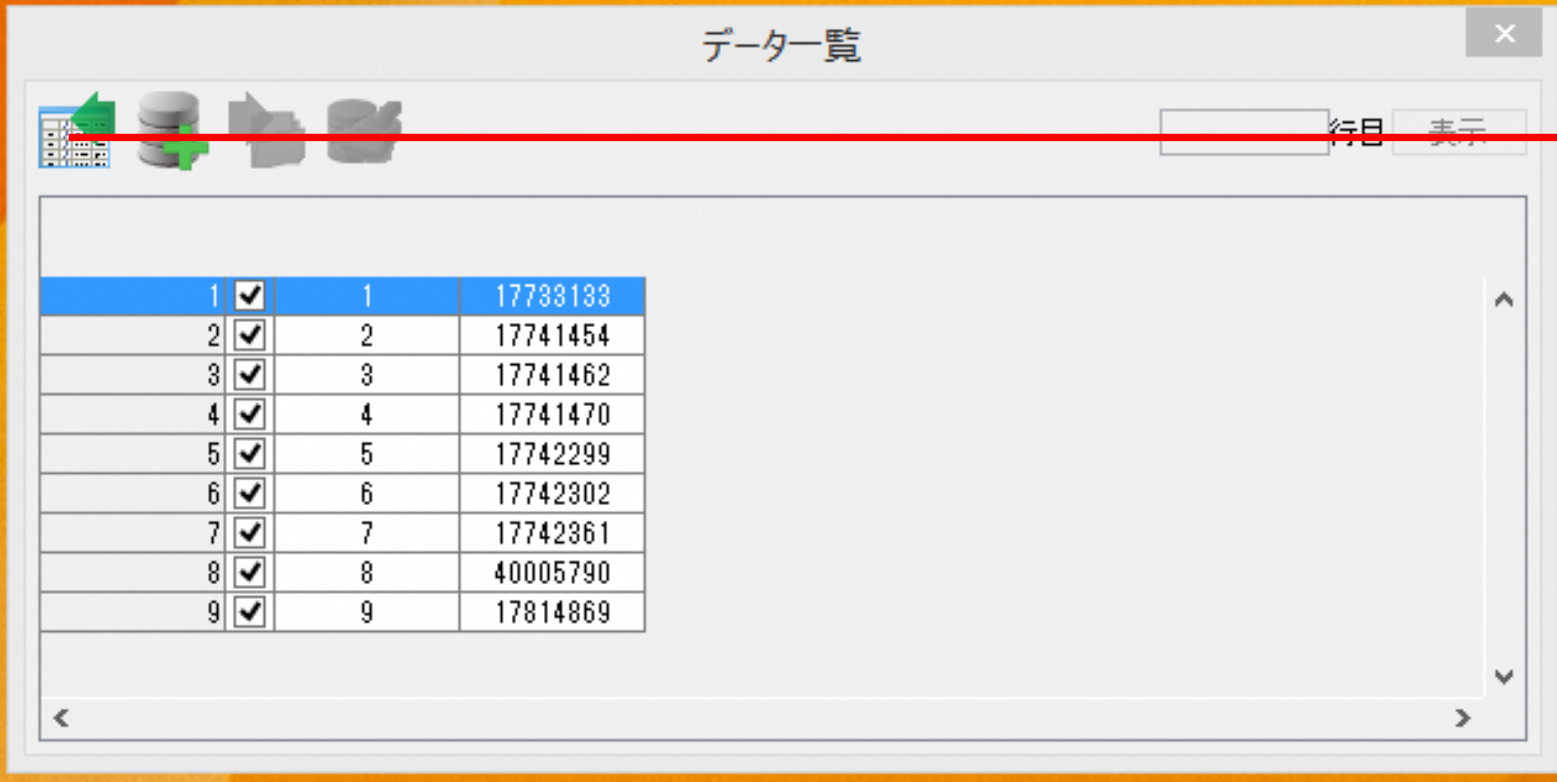
	氏名
1	草津 太郎
2	草津 花子
3	草津 たび丸

変数とは？

数学の x や y のように、その時々で**変化する値**のことをいう。

例えば上記の「▼氏名一覧表」の氏名をシステムに順番に入力するという作業があった場合、【「草津 太郎」を入力】とシナリオに記録すると、1~3まで「草津 太郎」の入力を常に行うシナリオが完成するが、変数一覧画面で「氏名」を変数として登録した後、【「氏名（変数）」を入力】とシナリオに記録すると、1番目は草津太郎、2番目は草津花子~~と順番に入力していくシナリオが完成する。

③データ一覧画面 エクセルの表を読み込む



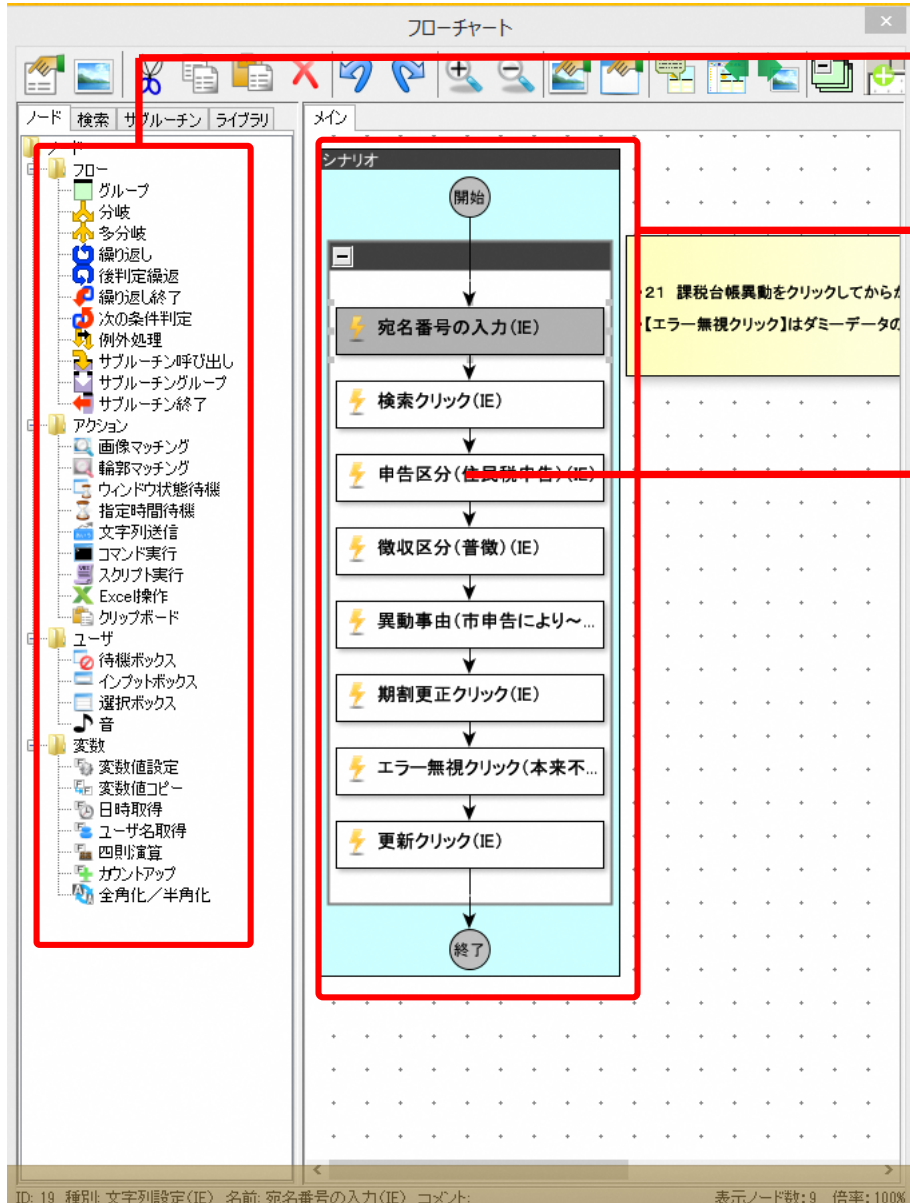
1	✓	1	17733133
2	✓	2	17741454
3	✓	3	17741462
4	✓	4	17741470
5	✓	5	17742299
6	✓	6	17742302
7	✓	7	17742361
8	✓	8	40005790
9	✓	9	17814869

データ参照ボタン

データ参照ボタン : 処理をしたいエクセルの表を読み込み、エクセル表のタイトル部分（「氏名」、「〇〇番号」など）を変数として、登録しておくことで、シナリオに【繰り返し】の命令を登録しなくても上から順番に処理をしてくれるようになる。

④フローチャート画面

作成したシナリオをフローチャート形式で表示



必要なパーツをドラッグして右に持って来られるエリア

作成したシナリオが表示されるエリア

シナリオの各パーツを直接ダブルクリックするとパーツごとの詳細な設定の変更が可能
特定の命令前後に待機時間を設定したり、パーツの名称を変更（単なる「クリック」ではどこをクリックするのかわかりづらいので、「〇〇ボタンをクリック」という名称に変更するなど）したり、他にも様々な詳細設定ができる。

⑤イメージ画面

どんな操作をしているのか視覚的に確認

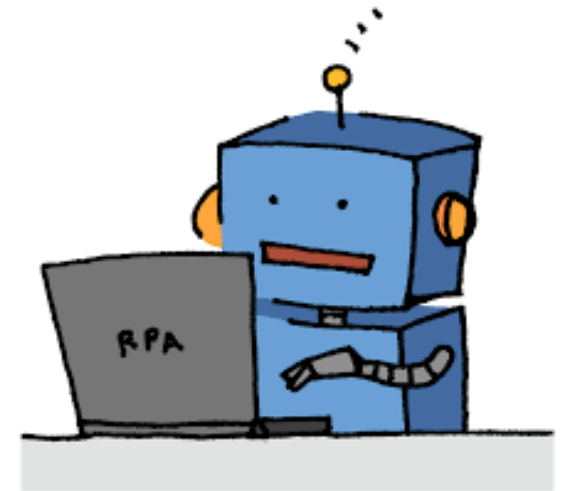
▼【検索ボタンをクリック】という命令のイメージ画像



イメージ画面で何が出来る？

- イメージ画面は普段は何も表示されていない。
- フローチャート画面の各パーツをクリックした際に、それぞれのパーツがどのような操作なのかイメージで確認できる。
- シナリオを作成する際には不要だが、正しく動作しない時の確認作業に使うとわりと便利。厳密には、別に使っても使わなくてもどちらでも良いという画面

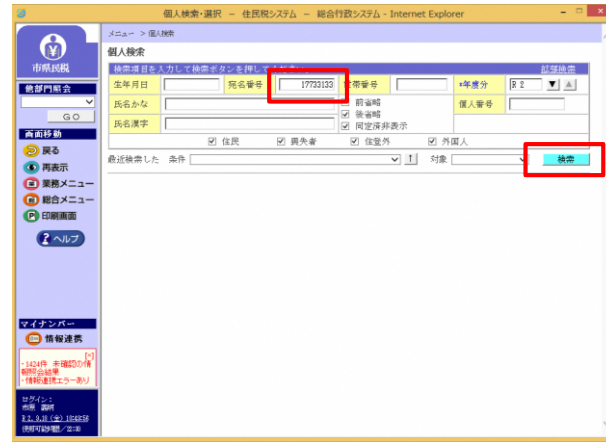
最低限の知識でつくる 実践編



ゼロ申告処理のRPAシナリオを作ってみよう

ゼロ申告処理の手順をおさらい

①



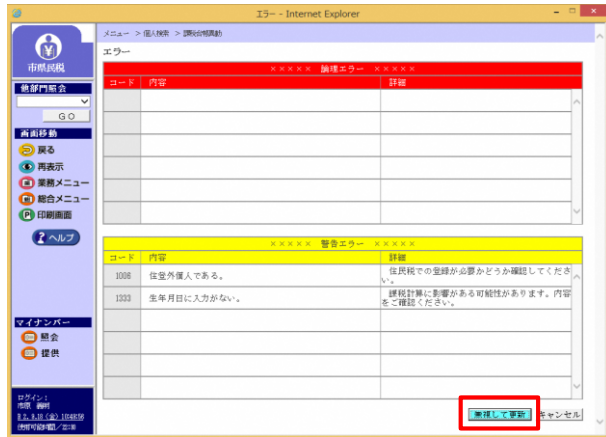
宛名番号を入力し、検索ボタンをクリック
(今回はダミーデータを使用)

②



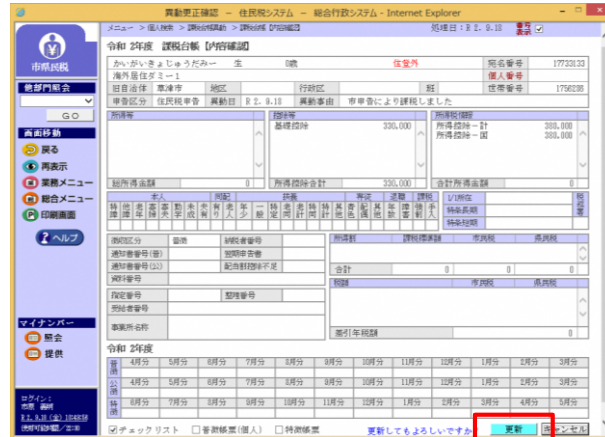
それぞれのタブで「住民税申告」、「普徴」、「市申告により課税しました」を選び、「期割更正」をクリック

③



警告エラーが出るが、「無視して更新」をクリック

④



「更新」をクリック

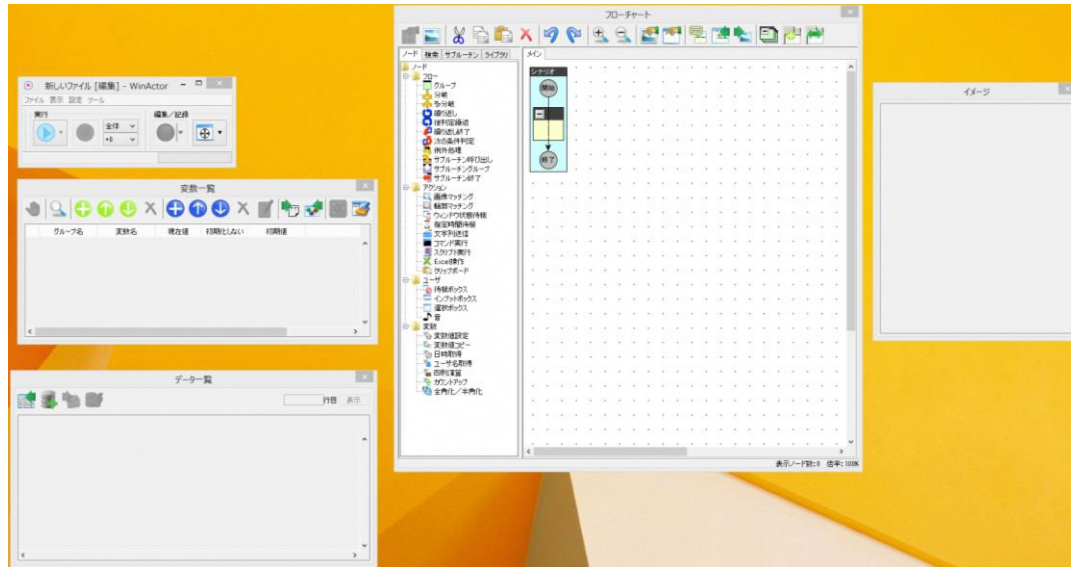
⑤



最初の画面に戻る

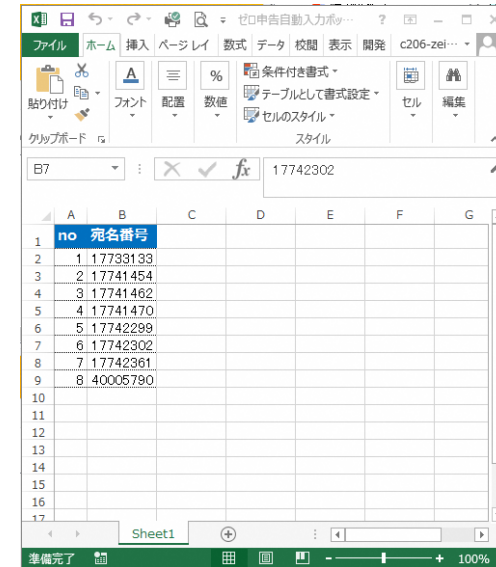
ゼロ申告処理のRPAシナリオを作ってみよう

事前準備



RPAを起動して各種ウィンドウを出しておく

&



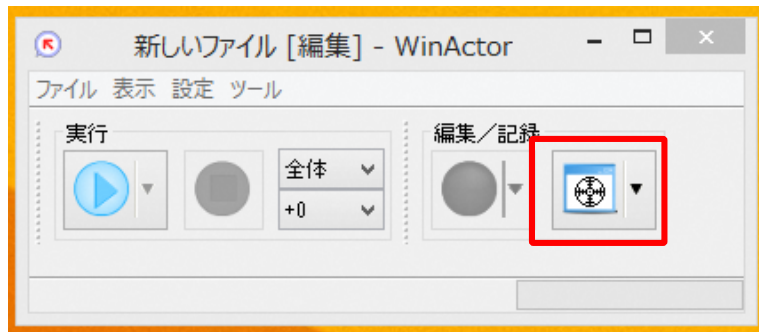
を用意

ゼロ申告処理をしたい人のリスト（エクセル）を作成、保存しておく

ゼロ申告処理のRPAシナリオを作ってみよう

シナリオを作成 1

①



まずは。メイン画面の「的ボタン」をクリック

②



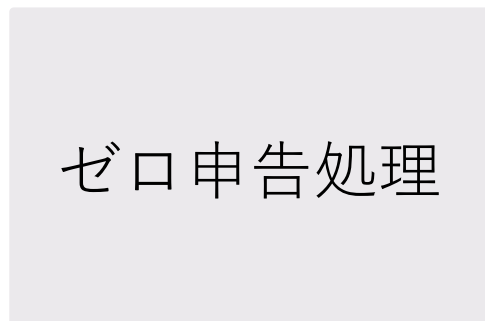
すると、マウスポインタが「的マーク」になるので、今回はG-coasを選択

③



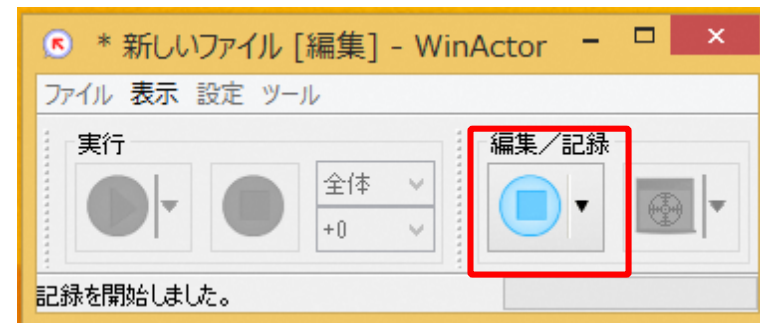
すると、録画ボタンが押せるようになるのでクリック
ウィンドウ下部に「記録を開始しました」と出たら、次へ

④



ゼロ申告書処理の作業を1人分処理

⑤

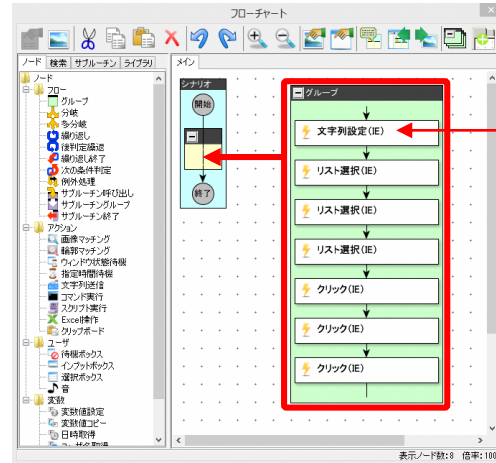


1人分の入力完了したら、四角の形に変化した
「録画ボタン」を再度クリックして録画を停止

ゼロ申告処理のRPAシナリオを作ってみよう

シナリオを作成 2

①



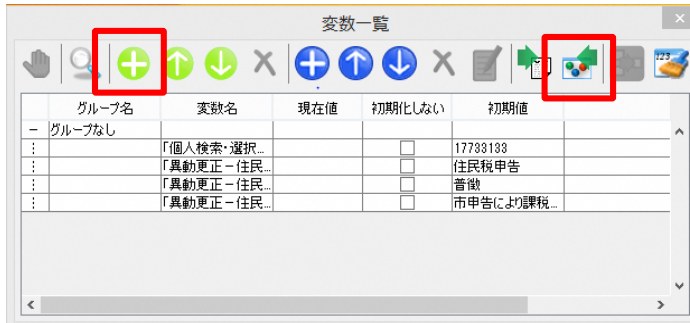
録画を停止すると、シナリオの横に上記のような塊ができるので、塊ごと左のシナリオ上にドラッグ

②

しかし、現状このシナリオは、宛名番号を検索するときに入力した宛名番号だけしか入力しないので、ここで「変数」の設定が必要になる

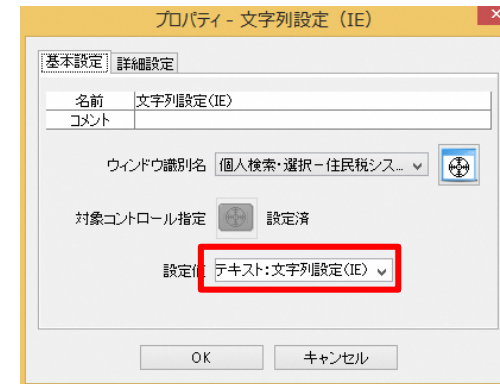


③



左右どちらのボタンを使用しても良いので、変数「宛名番号」と登録。左は変数を手打ち、右はエクセルの読込により登録

④



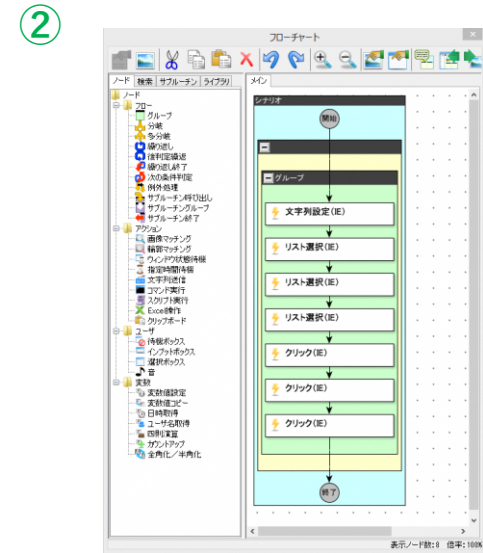
シナリオ上の「文字列設定 (IE)」(宛名番号を入力するという命令) をダブルクリックして出てくる上記項目を先ほど設定した「宛名番号」に変更

ゼロ申告処理のRPAシナリオを作ってみよう

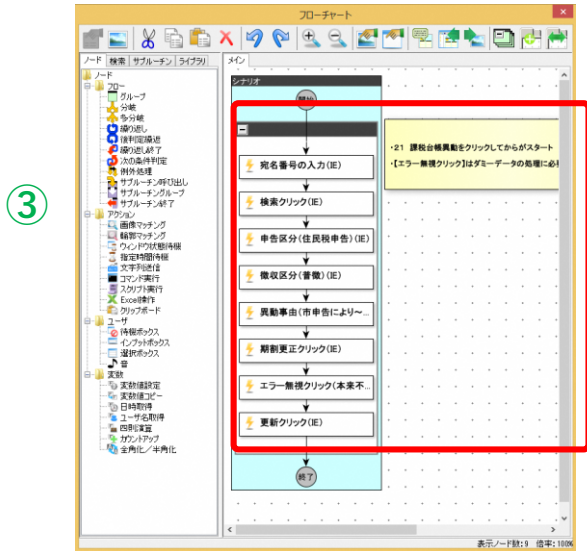
シナリオを作成 3



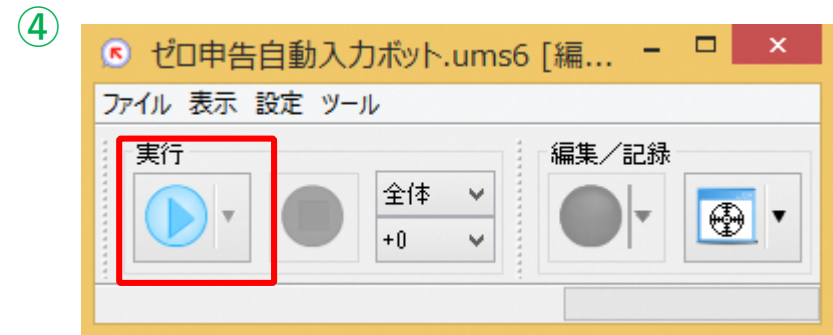
「データ一覧画面」の「データ参照ボタン」を押し、処理したいエクセルを取り込む



これでは「メイン画面」の実行ボタンをクリックするだけでデータ一覧の番号順に処理がされる状態



しかし、そのままでは他の人が見てもどんな命令が設定されているのかよくわからないので、パーツ毎に何をしているのか？がわかるように名称を個別に変更して、注意事項を書き加えてあげると尚良し（この時にイメージ画面が便利）



あとは正常に動くことを祈って実行ボタンを押すだけ
また、ファイルタブから作成したシナリオを保存するのを忘れずに

おわり

新しいシナリオを作っても一度で最初から最後まで正常に動作することはほとんどありません。何度もデバッグ作業をするうちに少しずつ使い方がわかってきます。そのため、一度実行して正しく動作しなくてもあきらめずにシナリオを完成させていきましょう！